

# 朝里地区 ブロック別学校再編プランの 検討のために

この資料は、地区別懇談会で参加者間の活発な意見交換ができるようにという観点で作成したものです。

## ブロックの概要

### 町名

桜、船浜町、朝里、新光、望洋台、新光町、朝里川温泉

### 通学区域から見た現在の学校配置

小学校 桜小学校、望洋台小学校、豊倉小学校、朝里小学校

中学校 桜町中学校、望洋台中学校、朝里中学校

## 町別学齢人口（27年度推計）

（人）

	小学生							中学生			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	1年生	2年生	3年生	小計
桜	78	76	74	89	61	90	468	93	96	115	304
船浜町	2	1	1	0	1	1	6	0	0	1	1
朝里	13	14	18	14	14	12	85	14	10	17	41
新光	65	55	56	54	58	59	347	68	68	67	203
望洋台	23	29	32	30	35	45	194	36	47	42	125
新光町	6	14	10	8	23	16	77	18	15	19	52
朝里川温泉	2	9	2	4	5	4	26	4	5	2	11
計	189	198	193	199	197	227	1203	233	241	263	737

小樽市小中学校再編計画では、学校再編に当たっては次のとおりに進めるとしました。（抜粋）

- ◆ 統合の時期は、学校施設の状況、対象校の位置関係、統合前の児童生徒の交流期間等を総合的に考慮し、地区実施計画を策定し決めていきます。その際、同一地区内で、段階的な実施となる場合は、児童生徒が統廃合を繰り返して経験することのないような間隔とします。
- ◆ 統合学校は、原則として、既存の学校敷地、校舎を活用していくこととし、校舎が近年、改修・建て替えをしている場合を除き、大規模改修・建て替え時に合わせた施設設備の充実を図ることを基本とします。
- ◆ 統合学校の場所は、統合後の通学区域内のバランスと、校地・校舎の状況や通学上の安全などの条件を勘案して決定します。その際には、交通の利便性や冬期における周辺の除雪体制など、学校立地の条件としてより良好な環境であるかの観点も考慮します。
- ◆ 特別支援学級などについては、統合する時点での学級を確保し、統合学校に引き続き設置します。また、支援を必要とする児童生徒が新たに入学する場合は、原則として再編後の校区内の学校に就学できるよう配慮します。
- ◆ 学校再編に伴い、在学中に統合することになる学校への入学予定者については、再編後の新たな通学区域や通学距離を考慮した特例を、また、統合の時点での在學生についても、交友関係や通学距離などを考慮した特例を設け、指定校変更の承認をするなど学校指定に関する弾力的な運用を行います。

## 小学校の概要

各項目の数値は平成 21 年度現在のものです。

		桜小学校	望洋台小学校	豊倉小学校	朝里小学校
学校の規模等					
児童数	通常	491 人	413 人	26 人	608 人
	柵垣	5 人	3 人	—	6 人
学級数	通常	17 学級	12 学級	3 学級	19 学級
	柵垣	3 学級	3 学級	—	4 学級
開校年月		明治 10 年 1 月	昭和 59 年 4 月	大正元年 9 月	明治 9 年 11 月
学校施設					
現校舎の建築年 (面積)		昭 41 ( 407 m <sup>2</sup> ) 昭 42 ( 264 m <sup>2</sup> ) 昭 49 ( 612 m <sup>2</sup> ) 昭 54 (2088 m <sup>2</sup> ) 昭 55 (1837 m <sup>2</sup> )	昭 59 (1835 m <sup>2</sup> ) 昭 63 (1531 m <sup>2</sup> ) 平 6 (1783 m <sup>2</sup> )	昭 57 (999 m <sup>2</sup> ) 平 17 ( 91 m <sup>2</sup> )	昭 41 ( 660 m <sup>2</sup> ) 昭 42 ( 264 m <sup>2</sup> ) 昭 51 ( 660 m <sup>2</sup> ) 昭 55 ( 528 m <sup>2</sup> ) 昭 57 (2050 m <sup>2</sup> ) 昭 58 (2229 m <sup>2</sup> )
耐震化優先度 (校舎)		平成 22 年度耐震 補強工事実施 (S41、S42、S49) ・ S54 は④- 1 ・ S55 は③- 2			平成 22 年度耐震 補強工事実施 (S41、S42、S51 S55)
保有教室の内訳 (普 通教室には学級増で転用 想定も含む)		普通 21 教室	普通 18 教室	普通 4 教室	普通 26 教室
		特別 8 教室	特別 8 教室	特別 4 教室	特別 8 教室
体育館面積	m <sup>2</sup>	932 m <sup>2</sup>	1,067 m <sup>2</sup>	841 m <sup>2</sup>	1,224 m <sup>2</sup>
グラウンド実面積	m <sup>2</sup>	7,200 m <sup>2</sup> (うち 6300 m <sup>2</sup> は さくら公園を利用)	8,300 m <sup>2</sup>	1,000 m <sup>2</sup>	4,200 m <sup>2</sup>
通学環境					
隣接校との距離 (km)		若竹小 (1.3) 望洋台小 (1.4) 朝里小 (2.6)	桜小 (1.4) 豊倉小 (1.7) 朝里小 (2.4)	望洋台小 (1.7) 朝里小 (3.0)	望洋台小 (2.4) 桜小 (2.6) 豊倉小 (3.0)
在校生の最長通学 距離 (km)		桜 3 (1.6)	望洋台 3 (1.5)	朝里川温泉 2 (1.3)	新光 5 (1.7)
最寄りのバス停		弥生通 (350m)	望洋タウンセンター (130m)	文治沢 (600m)	自動車学校前 (420m)
進学する中学校		桜町中	望洋台中	朝里中	朝里中
その他					
ブロック内他校と 比較した特記事項				複式編制	

## 中学校の概要

各項目の数値は平成 21 年度現在のものです。

		桜町中学校	望洋台中学校	朝里中学校
学校の規模等				
生徒数	通常	271 人	195 人	384 人
	特別	—	1 人	6 人
学級数	通常	9 学級	6 学級	12 学級
	特別	—	1 学級	3 学級
開校年月		昭和 37 年 1 月	平成 2 年 4 月	昭和 22 年 5 月
学校施設				
現校舎の建築年 (面積)		昭 36 (1626 m <sup>2</sup> ) 昭 37 (1066 m <sup>2</sup> ) 昭 42 ( 641 m <sup>2</sup> ) 昭 57 ( 465 m <sup>2</sup> ) 昭 60 ( 106 m <sup>2</sup> )	平 2 (3475 m <sup>2</sup> )	昭 35 ( 177 m <sup>2</sup> ) 昭 36 ( 182 m <sup>2</sup> ) 昭 38 ( 274 m <sup>2</sup> ) 昭 43 ( 706 m <sup>2</sup> ) 昭 51 ( 658 m <sup>2</sup> ) 昭 54 ( 723 m <sup>2</sup> ) 昭 59 (1816 m <sup>2</sup> ) 昭 61 ( 288 m <sup>2</sup> )
耐震化優先度 (校舎)		平成 23 年度耐震補強工 事予定 (S36) ・ S37 は④-1 ・ S42 は③-1		平成 22 年度耐震補強 工事実施 (S43、S51、S54)
保有教室の内訳 (普通教室には学級増 で転用想定も含む)		普通 12 教室 特別 10 教室	普通 10 教室 特別 7 教室	普通 15 教室 特別 12 教室
体育館面積 m <sup>2</sup>		1,047 m <sup>2</sup>	1,461 m <sup>2</sup>	1,024 m <sup>2</sup>
グラウンド実面積 m <sup>2</sup>		3,700 m <sup>2</sup>	11,000 m <sup>2</sup>	7,500 m <sup>2</sup>
通学環境				
隣接校との距離 (km)		潮見台中 (1.4) 望洋台中 (2.7) 朝 里 中 (3.9)	桜 町 中 (2.7) 朝 里 中 (3.9)	望 洋 台 中 (3.9) 桜 町 中 (3.9)
在校生の最長通学距離 (km)		桜 3 (2.2)	桜 3 (2.4)	朝里川温泉 2 (4.5)
最寄りのバス停		桜町 (350m)	望洋台シャンツェ下 (300m)	朝里中学校前 (170m) 小樽自動車学校前 (750m)
通学時バス利用者				10 人
校区の小学校		若竹小、桜小	望洋台小	朝里小、豊倉小
その他				
ブロック内他校と 比較した特記事項				

## 統合の組合せの考え方

すべての小中学校が再編の対象となり、学校再編計画で示したこのブロックの想定学校数は小学校が3校、中学校は2校です。

ブロック内には4校の小学校と3校の中学校がありますので、このうちいずれか2校の通学区域を組み合わせる統合となります。

このブロックは地理的な特徴から、桜、新光、朝里、望洋台、朝里川温泉のエリアに区分できますが、望洋台地区と新光・朝里地区は朝里川によって分けられていて朝里橋と新光大橋にアクセスが限定されています。

現在の学校配置から、Aグループは桜小学校区。Bグループ及びCグループは望洋台小学校校区、朝里小学校校区に豊倉小学校校区を組み合わせることとします。また、Aグループでは隣接する南小樽地区ブロックの若竹小学校の校区の一部の組合せも考え、それぞれの校区をベースにして新しい通学区域と統合校の位置を検討したプランとパターンを示します。

中学校については、地勢的な特徴から学校の位置をAグループは桜町中学校区及び望洋台中学校区の組合せ、Bグループは朝里中学校校区をベースとします。

Aグループでは桜町中学校校区のうち南小樽地区の若竹小学校校区の部分を隣接地区ブロックに編入する組合せを考えながら、それぞれの校区をベースにして新しい通学区域と統合校の位置を検討したプランとパターンを示します。



# 小学校の プラン1

現在の校区をもとにした、A校（桜小）、B校（望洋台小）、及びCグループ（豊倉小、朝里小）の組合せ

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
A 校	桜小の校区全域	現在の桜小	①
B 校	望洋台小の校区全域	現在の望洋台小	②
Cグループ	豊倉小、朝里小の校区全域	現在の豊倉小	③
		現在の朝里小	④

パターン	27年度児童数 と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A <sub>グループ</sub> -①(桜小)	421人 15学級	桜 3      1.6km	耐震化工事(平成22年度実施)
B <sub>グループ</sub> -②(望洋台小)	247人 9学級	望洋台 3      1.5km	
C <sub>グループ</sub> -③(豊倉小)	535人 17学級	朝里 2      3.6km	増築工事
C <sub>グループ</sub> -④(朝里小)		朝里川温泉 2      4.1km	耐震化工事(平成22年度実施)

プラン1の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン1		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
A 校	児童数	72	68	64	81	55	81	421
	学級数	3	2	2	3	2	3	15
B 校	児童数	31	38	43	38	42	55	247
	学級数	1	1	2	1	2	2	9
Cグループ	児童数	86	92	86	80	100	91	535
	学級数	3	3	3	2	3	3	17

## 小学校の プラン2

現在の校区をもとにした、A校（桜小）、Bグループ（望洋台小、豊倉小）、C校（朝里小）の組合せ

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
<b>A 校</b> (プラン1と同じ)	桜小の校区全域	現在の桜小	①
<b>Bグループ</b>	望洋台小、豊倉小の校区全域	現在の望洋台小	⑤
		現在の豊倉小	⑥
<b>C 校</b>	朝里小の校区全域	現在の朝里小	⑦

パターン	27年度児童数 と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
<b>B<sub>グループ</sub>-⑤</b> (望洋台小)	273人 11学級	朝里川温泉2 2.8km	
<b>B<sub>グループ</sub>-⑥</b> (豊倉小)		桜3 3.2km	増築工事
<b>C<sub>グループ</sub>-⑦</b> (朝里小)	509人 17学級	新光5 1.7km	耐震化工事(平成22年度実施)

プラン2の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン2		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
<b>A 校</b> (プラン1と同じ)	児童数	72	68	64	81	55	81	421
	学級数	3	2	2	3	2	3	15
<b>Bグループ</b>	児童数	33	47	45	42	47	59	273
	学級数	1	2	2	2	2	2	11
<b>C 校</b>	児童数	84	83	84	76	95	87	509
	学級数	3	3	3	2	3	3	17

## 小学校の プラン3

現在の桜町中学校の校区をもとにして、若竹小校区のうち桜町中校区を桜小校区へ編入した形で、Aグループ（桜小、若竹小校区のうち桜町中校区）、B校（望洋台小）、Cグループ（豊倉小、朝里小）の組合せ

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	・ 桜小の校区全域	現在の桜小	⑧
	・ 若竹小校区のうち桜町中校区	現在の若竹小※	⑨
B校 (プラン1と同じ)	望洋台小の校区全域	現在の望洋台小	②
Cグループ (プラン1と同じ)	豊倉小、朝里小の校区全域	現在の豊倉小	③
		現在の朝里小	④

※このプランでは通学区域に隣接ブロックの若竹小学校の場所が含まれることから、学校の位置とした場合のパターンを考えます。

パターン	27年度児童数 と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A <sub>27</sub> グループ-⑧ (桜小)	483人 16学級	桜 3      1.6km	耐震化工事(平成22年度実施)
A <sub>27</sub> グループ-⑨ (若竹小)		桜 3      2.2km	耐震化工事、大規模改修 または建て替えが必要

プラン3の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン3		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
Aグループ	児童数	81	75	75	91	68	93	483
	学級数	3	3	2	3	2	3	16
B校 (プラン1と同じ)	児童数	31	38	43	38	42	55	247
	学級数	1	1	2	1	2	2	9
Cグループ (プラン1と同じ)	児童数	86	92	86	80	100	91	535
	学級数	3	3	3	2	3	3	17



## 小学校の プラン4

現在の桜町中学校の校区をもとにして、若竹小校区のうち桜町中校区を桜小校区へ編入した形で、Aグループ（桜小、若竹小校区のうち桜町中校区）、Bグループ（望洋台小、豊倉小）、C校（朝里小）の組合せ

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ (プラン3と同じ)	・ 桜小の校区全域 ・ 若竹小校区のうち桜町中校区	現在の桜小	⑧
		現在の若竹小※	⑨
Bグループ (プラン2と同じ)	望洋台小、豊倉小の校区全域	現在の望洋台小	⑤
		現在の豊倉小	⑥
C 校 (プラン2と同じ)	朝里小の校区全域	現在の朝里小	⑦

※このプランでは通学区域に隣接ブロックの若竹小学校の場所が含まれることから、学校の位置とした場合のパターンを考えます。

プラン4の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン4		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
Aグループ (プラン3と同じ)	児童数	81	75	75	91	68	93	483
	学級数	3	3	2	3	2	3	16
Bグループ (プラン2と同じ)	児童数	33	47	45	42	47	59	273
	学級数	1	2	2	2	2	2	11
C 校 (プラン2と同じ)	児童数	84	83	84	76	95	87	509
	学級数	3	3	3	2	3	3	17

# 中学校の プラン1

現在の校区をもとにした、Aグループ（桜町中、望洋台中）、B校（朝里中）の組合せ  
（小学校のプラン3に対応）

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	桜町中、望洋台中の校区全域	現在の桜町中	①
		現在の望洋台中	②
B校	朝里中の校区全域	現在の朝里中	③

パターン	27年度生徒数 と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A <sub>グル</sub> -①（桜町中）	472人 14学級	桜 3      2.3km	耐震化工事（平成23年度予定）
A <sub>グル</sub> -②（望洋台中）		桜 3      3.2km	増築工事
B <sub>グル</sub> -③（朝里中）	307人 9学級	朝里川温泉 2      4.5km	耐震化工事（平成22年度実施）

プラン1の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン1		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	141	152	179	472
	学級数	5	4	5	14
B校	生徒数	104	98	105	307
	学級数	3	3	3	9

## 中学校の プラン2

朝里中の校区を豊倉小校区と朝里小校区に分割し、Aグループ（桜町中、望洋台中、朝里中校区のうち豊倉小校区）、Bグループ（朝里中校区のうち朝里小校区）の組合せ（小学校のプラン4に対応）

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜町中の校区全域</li> <li>・ 望洋台中の校区全域</li> <li>・ 朝里中校区のうち豊倉小校区</li> </ul>	現在の桜町中	④
		現在の望洋台中	⑤
Bグループ	朝里中校区のうち朝里小校区	現在の朝里中	⑥

パターン	27年度生徒数 と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)		大きな改修の必要性
A <sub>グループ</sub> -④(桜町中)	483人 14学級	朝里川温泉 2	4.5km	耐震化工事(平成23年度予定)
A <sub>グループ</sub> -⑤(望洋台中)		桜 3	3.2km	増築工事
B <sub>グループ</sub> -⑥(朝里中)	296人 9学級	新光 5	1.7km	耐震化工事(平成22年度実施)

プラン2の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン2		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	145	157	181	483
	学級数	5	4	5	14
Bグループ	生徒数	100	93	103	296
	学級数	3	3	3	9

## 中学校の プラン3

現在の小学校の校区をもとにして、桜町中の校区のうち若竹小校区を隣接ブロックに分割した形でAグループ（桜町中校区のうち桜小校区、望洋台中校区）とBグループ（朝里中）の組合せ（小学校のプラン1に対応）

組合せグループ	新しい通学区域	隣接ブロックに編入	統合校の位置	パターン
Aグループ	・桜町中校区のうち桜小校区	桜町中校区のうち若竹小校区	現在の桜町中	⑦
			現在の望洋台中	⑧
B校 (プラン1と同じ)	・望洋台中の校区全域		現在の朝里中	③

パターン	27年度生徒数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A <sub>グループ</sub> -⑦ (桜町中)	430人 12学級	桜 3      2.3km	耐震化工事 (平成23年度予定)
A <sub>グループ</sub> -⑧ (望洋台中)		桜 3      3.2km	増築工事

プラン3の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン3		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	129	143	158	430
	学級数	4	4	4	12
B校 (プラン1と同じ)	生徒数	104	98	105	307
	学級数	3	3	3	9

## 中学校の プラン4

現在の小学校の校区をもとにして、桜町中の校区のうち若竹小校区を隣接ブロックに分割した形でAグループ（桜町中校区のうち桜小校区、望洋台中校区、朝里中校区のうち豊倉小校区）とBグループ（朝里中校区のうち朝里小校区）の組合せ  
（小学校のプラン2に対応）

組合せグループ	新しい通学区域	隣接ブロック に編入	統合校の位置	パターン
Aグループ	・桜町中校区のうち 桜小校区	桜町中校区の うち若竹小校 区	現在の桜町中	⑨
	・望洋台中の校区全域 ・朝里中校区のうち 豊倉小校区		現在の望洋台中	⑩
Bグループ (プラン2と同じ)	朝里中校区のうち 朝里小校区		現在の朝里中	⑥

パターン	27年度生徒数 と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A <sub>グループ</sub> -⑨ (桜町中)	441人	朝里川温泉 2 4.5km	耐震化工事 (平成23年度予定)
A <sub>グループ</sub> -⑩ (望洋台中)	12学級	桜 3 3.2km	増築工事

プラン4の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン4		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	133	148	160	441
	学級数	4	4	4	12
Bグループ (プラン2と同じ)	生徒数	100	93	103	296
	学級数	3	3	3	9

## プランとパターンから見た場合の検討結果

### (小学校)

- ◆ プラン1及びプラン2は、ブロック内の現在の校区をもとに再編を検討したものです。Aグループは桜小学校区。B、Cグループでは望洋台小学校と朝里小学校の校区に豊倉小学校区を組み合わせています。
- ◆ プラン3及びプラン4は若竹小学校の校区から考えて隣接するブロックも含めた再編を検討したもので、Aグループでは桜町中学校区のうち若竹小学校区の部分を編入し、Bグループ、Cグループはプラン1、2と同様の組合せとしています。

	Aグループ (校)	Bグループ (校)	Cグループ (校)
<b>学校規模等からの検討 (H27)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜小学校区全域とするプラン1、プラン2では421人、15学級で1学級当たりの児童数は28.1人です。</li> <li>・ 桜小学校区と若竹小学校区の組合せのプラン3、プラン4では483人、16学級で1学級当たりの児童数は30.2人です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 望洋台小学校区全域とするプラン1、プラン3では、247人、9学級で1学級当たりの児童数は27.4人です。</li> <li>・ 望洋台小学校と豊倉小学校の組合せのプラン2、プラン4では、273人、11学級で1学級当たりの児童数は24.8人です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝里小学校区全域とするプラン2、プラン4では、509人、17学級で1学級当たりの児童数は29.9人です。</li> <li>・ 豊倉小学校と朝里小学校の組合せのプラン1、プラン3では、535人、17学級で1学級当たりの児童数は31.5人です。</li> </ul>
<b>通学距離からの検討</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜小校区での最長通学距離(最遠地点からの距離)は1.6km。(パターン①)</li> <li>・ 桜小校区と若竹小校区のうち桜町中校区の組合せで桜小学校を学校の位置とした場合、最長通学距離は1.6km(パターン⑧)、同じ組合せで若竹小学校を学校の位置とした場合は2.2kmとなります。(パターン⑨)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 望洋台小校区での最長通学距離は1.5km。(パターン②)</li> <li>・ プラン2、プラン4、望洋台小学校と豊倉小学校の校区の組合せで学校の位置を望洋台小学校にした場合の最長通学距離は2.8km(パターン⑤)、豊倉小学校を学校の位置とした場合は、3.2kmとなります。(パターン⑥)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝里小校区での最長通学距離は1.7km。(パターン⑦)</li> <li>・ プラン1、プラン3、豊倉小学校と朝里小学校の校区の組合せで学校の位置を豊倉小学校とした場合の最長通学距離は3.6km(パターン③)、朝里小学校を学校の位置とした場合は4.1km(パターン④)となります。</li> </ul>

- ・桜小学校、若竹小学校は耐震補強が必要な学校です。桜小学校は平成22年度に補強工事を行います。
- ・若竹小学校の校舎の普通教室数は10教室です。
- ・望洋台小学校の校舎の耐震補強は不要です。
- ・朝里小学校は校舎の耐震補強が必要で、平成22年度に補強工事を行います。
- ・豊倉小学校の校舎の耐震補強は不要です。また、普通教室数は4教室です

- ◆ 統合後に最長通学距離が2 km 以上となるのはAグループでは、学校の位置を若竹小学校に置いた場合のパターン⑨で2.2km、Bグループ及びCグループでは、望洋台小学校に置いた場合のパターン⑤で2.8km、豊倉小学校に置いた場合のパターン③とパターン⑥で3.6kmと3.2km、朝里小学校に置いた場合のパターン④で4.1kmです。
- ◆ 施設面では、豊倉小学校の校舎は耐震基準を満たしていますが、普通教室数は4教室であるため、プランでの統合後の学校規模の11学級及び17学級に見合う教室が不足します。既存施設を活用するためには増築が必要ですが、敷地面積は5,646 m<sup>2</sup>と狭小です。  
 若竹小学校はすべての棟が耐震基準を満たさない校舎の学校で、転用を想定した普通教室数も10教室であるため必要な教室数を確保できません。
- ◆ 以上の検討結果から、統合校の位置は、桜小学校、望洋台小学校、朝里小学校の3校とすることが適切と考えます。
- ◆ 望洋台小学校は豊倉小学校の校区と組み合わせても12学級以上の編成にはなりません。望洋台地区では今後の地区全体での学齢人口の推移を見守る必要があります。豊倉小学校区からは望洋台小学校、朝里小学校への最長通学距離はいずれも2 km を超え通学費助成の対象となります。具体的な通学支援の方法については、実施計画策定の段階での検討が必要になります。

## (中学校)

- ◆ プラン1及びプラン2は、現在の3校の校区を基本に、ブロック内での再編を検討したものです。
- ◆ プラン3及びプラン4は隣接する南小樽地区の若竹小の校区との関係を考え、桜町中学校区のうち若竹小学校区の部分を隣接するブロックに編入する再編を検討したものです。

	Aグループ(校)	Bグループ(校)
<b>学校規模等からの検討(H27)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【プラン1】桜町中学校区及び望洋台中学校区全域の組合せでは、472人、14学級で1学級当たりの生徒数は33.7人です。</li> <li>・【プラン2】桜町中学校区及び望洋台中学校区全域と朝里中学校区のうち豊倉小学校区の組合せでは、483人、14学級で1学級当たりの生徒数は34.5人です。</li> <li>・【プラン3】桜町中学校区のうち桜小学校区と望洋台中学校区の組合せでは、430人、12学級で1学級当たりの生徒数は35.8人です。</li> <li>・【プラン4】桜町中学校区のうち桜小学校区と望洋台中学校区に豊倉小学校区の組合せでは、441人、12学級で1学級当たりの生徒数は36.8人です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝里中学校区全域とするプラン1、プラン3では、307人、9学級で1学級当たりの生徒数は34.1人です。</li> <li>・朝里中学校区のうち朝里小学校区を通学区区域とするプラン2、プラン4では、296人、9学級で1学級当たりの生徒数は32.9人です。</li> </ul>



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">通学距離からの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【プラン1】桜町中学校を学校の位置とした場合の最長通学距離（最遠地点からの距離）は2.3km（パターン①）、望洋台中学校を学校の位置とした場合は3.2km（パターン②）</li> <li>・【プラン2】桜町中学校を学校の位置とした場合の最長通学距離は4.5km、（パターン④）。望洋台中学校を学校の位置とした場合は3.2kmとなります。（パターン⑤）</li> <li>・【プラン3】桜町中学校を学校の位置とした場合の最長通学距離は2.3km、（パターン⑦）。望洋台中学校を学校の位置とした場合は3.2kmとなります。（パターン⑧）</li> <li>・【プラン4】桜町中学校を学校の位置とした場合の最長通学距離は4.5km、（パターン⑨）。望洋台中学校を学校の位置とした場合は3.2kmとなります。（パターン⑩）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝里中学校区での最長通学距離は4.5kmとなります。（パターン③）</li> <li>・朝里中学校うち朝里小学校区を通学区域としたパターン⑥での最長通学距離は1.7kmとなります。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施設面からの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜町中学校の校舎は耐震補強が必要ですが、平成23年度に工事を行う予定です。</li> <li>・望洋台中学校の校舎は平成2年に建てられ、耐震基準を満たしています。保有する普通教室数は10教室です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝里中学校の校舎は耐震補強が必要ですが、平成22年度に工事を行います。</li> </ul>

- ◆ Aグループは桜町中学校と望洋台中学校の校区を中心に考えた組み合わせです。2校ともプラン1、プラン2で学級数が14学級となった場合は学校規模に見合う教室数を確保できません。桜町中学校の校舎には築40年を超える古い棟があることから、統合校として使用する場合は建て替えの検討が必要となります。また、学校敷地が狭くグラウンドの実面積は3700㎡です。望洋台中学校は耐震基準を満たしており改造工事や増築をすることで現在の校舎を使用するこ

とができますので、学校施設の状況からは望洋台中学校が優位と言えます。

- ◆ 平成27年度での生徒数の地区別の居住分布を見ると、桜地区と望洋台地区では桜地区の方が多くことから、このグループでは居住分布を考えると、学校配置の関係からは桜町中学校が優位と言えます。また、通学距離の面からも望洋台中学校を学校の位置とするパターン②⑤⑧⑩では、現在の桜町中学校区からの最長通学距離が3kmを超えることとなります。

- 
- ◆ Aグループでは学校の位置を考えると桜町中学校、施設面を考えると望洋台中学校それぞれ優位な部分があります。地区ブロックの年少人口が減少する傾向にある中で、望洋台地区の基本計画の後期以降の地区全体での年少人口の推移をみながら検討するのが望ましいと考えます。
  - ◆ Bグループ（校）では朝里中学校を学校の位置としています（パターン③⑥）。
  - ◆ Aグループ及びBグループの通学区域については、小学校の再編と合わせて検討することが必要です。

小学校及び中学校それぞれのプラン3及びプラン4を選択する場合は、現在の若竹小学校及び桜町中学校の校区変更を伴いますので、「南小樽地区ブロック」の学校再編との調整が必要です。

参考

- 小学校のプラン3、4（8、9ページ）のAグループ隣接ブロック関係校の概要

各項目の数値は平成21年度現在		若竹小学校
		南小樽地区ブロック
学校の規模等		
児童数	通常	147人
	特別支援	3人
学級数	通常	6学級
	特別支援	3学級
開校年月		大正15年12月
学校施設		
現校舎の建築年（面積）		昭47(3030㎡)
		昭55(221㎡)
耐震化優先度（校舎）		③-1、⑤-1
保有教室の内訳（普通教室には学級増で転用想定も含む）		普通 10教室
		特別 7教室
体育館面積	㎡	615㎡
グラウンド実面積	㎡	3,000㎡
大きな改修の必要性		耐震化工事、大規模改修または建て替え
通学環境		
隣接校との距離（km）		桜小（1.3）、潮見台小（1.6）
最長通学距離（km）		築港12（1.1）
最寄りのバス停		築港駅前（680m）、桜町（900m）
進学する中学校		潮見台中、桜町中
その他		
ブロック内他校と比較した特記事項		給食自校実施